

オーケーエム (コード 6229)

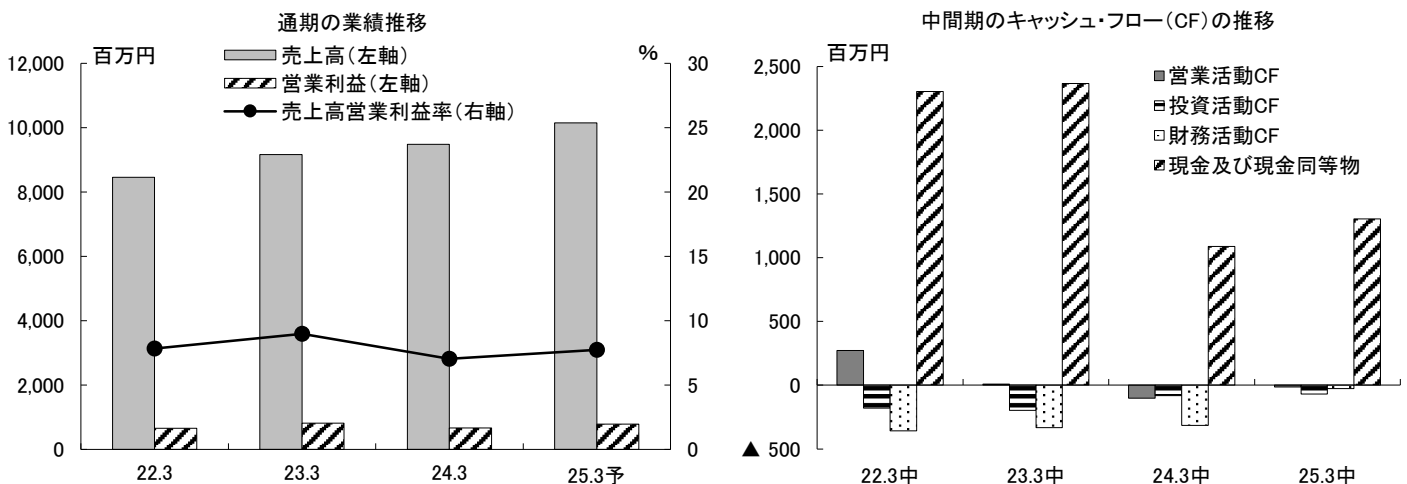
◆各決算期の中間期業績推移(連結)

決算期	売上高	営業損益	1株純損益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
22.3	3,858	248	112.9	0.0	273	▲179	▲358	2,303
23.3	4,239	305	49.7	0.0	8	▲198	▲334	2,366
24.3	4,446	288	51.1	0.0	▲102	▲82	▲315	1,089
25.3	5,060	476	71.5	0.0	▲14	▲68	▲27	1,305

◆通期業績推移(連結) (25.3 予は会社側発表値)

決算期	売上高	営業利益	1株純損益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
22.3	8,456	662	188.1	45.0	993	▲237	▲695	2,713
23.3	9,164	823	169.8	40.0	▲1,294	585	▲557	1,560
24.3	9,484	667	113.0	40.0	628	▲249	▲629	1,337
25.3予	10,150	785	123.7	40.0	—	—	—	—

(CF=キャッシュ・フロー。現金及び現金同等物は各期末値。▲はマイナス。単位は百万円、円)



25年3月期中間期の業績概況…25年3月期の中間期(24年4~9月)は、陸用、船用ともに好調に推移し、売上高が前年同期に比べて約14%増加した。利益面では、原材料やエネルギーの価格高止まり、賃上げに伴う人件費の増加などがあった一方、同社の得意とするカスタマイズ製品の販売増による収益性の改善などから、営業利益は約66%増加した。

当期の業績は、売上高50億6,000万円(前年同期比13.8%増)、営業利益4億7,600万円(同65.5%増)、経常利益4億6,200万円(同37.8%増)、親会社株主に帰属する中間純利益(以下、中間純利益)3億2,300万円(同40.0%増)となった。営業外費用で為替差損2,200万円(前年同期は営業外収益で為替差益3,000万円)を計上したことなどにより、経常利益及び中間純利益の増益率が営業利益に比べて小さくなっている。

受注高は53億4,500万円(前年同期比8.5%増)に拡大し、市場別では、陸用が23億2,500万円(同5.8%減)に減少した一方、船用が30億2,000万円(同22.8%増)に増加。売上高については、陸用が24億1,600万円(同10.8%増)、船用が26億4,400万円(同16.7%増)で、陸用、船用ともに増加した。陸用については、前年に大型案件の納入があった石油化学と電力・ガス向けが低調だったものの、鉄鋼・金属及び機械装置向けの販売が堅調に推移し、売上が増加した。陸用の主要業界別状況(単体ベース)については、建築設備向けが前年同期比27.3%増、

石油化学向けが同 27.8%減、鉄鋼・金属向けが同 60.9%増、電力・ガス向けが同 42.2%減、機械装置が同 23.6%増などとなった。

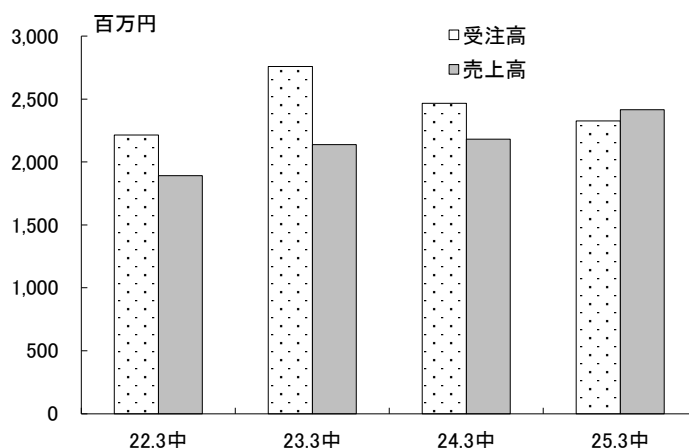
船用において、造船向けは、世界的な新造船竣工量回復に伴う販売数量増加により売上が増加。船舶排ガス用バルブについては、海外の競合他社からの価格攻勢が継続しているものの、需要拡大に加え、過去からの豊富な納入実績、同社グループのサポート体制への評価などにより販売が堅調に推移した。また、LNG を燃料とする船舶の燃料ガス供給システム向け LNG 用バルブについても計画通りに納入が進み、売上が増加した。

キャッシュ・フロー（以下、CF）の状況については、当期末現在の現金及び現金同等物の残高は 13 億 500 万円（前年同期末比 19.8%増）となった。営業活動による CF は、税金等調整前中間純利益 4 億 6,400 万円（前年同期比 38.5%増）、減価償却費 1 億 5,000 万円（同 5.7%減）、売上債権の増加額 4 億 8,100 万円（同 96.3%増）、棚卸資産の増加額 1 億 1,400 万円（同 56.5%減）、仕入債務の増加額 1 億 9,800 万円（同 182.9%増）、法人税等の支払額 8,700 万円（同 59.9%減）などにより、1,400 万

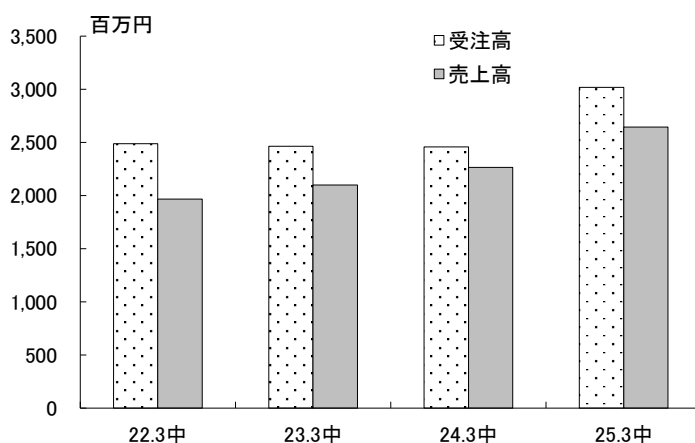
円の支出（同 86.3%減）となった。投資活動による CF は、有形固定資産の取得による支出 6,700 万円（同 11.7%増）、敷金及び保証金の差入による支出 100 万円未満（前年同期は 1,700 万円）などにより、6,800 万円の支出（同 17.1%減）となった。財務活動による CF は、短期借入金の純増額 2 億 8,300 万円（前年同期は無し）、長期借入金の返済による支出 1 億 1,800 万円（前年同期比 2.6%増）、配当金の支払額 1 億 8,100 万円（同 0.6%増）などにより、2,700 万円の支出（同 91.4%減）となった。

25 年 3 月期の通期業績見通し…25 年 3 月期の通期業績は、24 年 5 月 15 日付けの会社側発表値から変更が無く、売上高 101 億 5,000 万円（前期比 7.0%増）、営業利益 7 億 8,500 万円（同 17.5%増）、経常利益 8 億 2,000 万円（同 9.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 5 億 6,000 万円（同 9.6%増）の見通し。陸用売上高は前期比約 9%増、船用売上高は約 5%増の見込み。

中間期の陸用の受注高及び売上高推移



中間期の船用の受注高及び売上高推移



本レポートは、会社側が発表した決算短信や決算説明資料などに基づき作成しており、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。